

我が道を往く

『我が道を往く』（わがみちをゆく、**Going My Way**）は、1944 年製作のアメリカ映画。パラマウント映画製作。第 17 回アカデミー賞では作品賞をはじめ、その年の最多となる 7 部門を獲得した（後述）。また、米国連邦議会図書館がアメリカ国立フィルム登録簿へ 2004 年に登録した。

上映時間 130 分

ストーリー

ニューヨークの下町にある古びた教会、セント・ドミニク。老神父フィッツギボン（バリー・フィッツジェラルド）は、廃屋寸前の建物と周囲の劣悪な環境に、最近はあきらめ顔である。

そこへ副神父として派遣された若いオマリー（ビング・クロスビー）がやってきた。口うるさい老婆と家主の喧嘩をなだめ、街のギャングたちには芝居の券を配り楽しみ方を教え、不良少年たちには合唱を教え込み合唱隊を作る。ついでに、幼友達のオペラ歌手リンデン（リーゼ・スティーヴンス）が教会の財政難を救ってくれて、フィッツギボンとオマリーは大喜び。しかし、その夜、教会は全焼してしまう。そして、間もなくオマリーは、別の教区へ移ることが決まった。

その年のクリスマス・イヴ。リンデンに率いられた少年合唱隊は寄付をたくさん集めて帰ってくる。かつてオマリーが助けた家出娘のキャロルもアパートの家主の息子テッドと結婚が決まった。フィッツギボンも数十年ぶりにアイルランドに住む母親と再会する。教会には歓喜の「アヴェ・マリア」が流れる。

フィッツギボンは名残惜しそうにオマリーを見送るのであった。

キャスト

役名	俳優	日本語吹き替え
チャック・オマリー神父	ビング・クロスビー	中村正 堀川りょう
フィッツギボン神父	バリー・フィッツジェラルド	槐柳二 大竹宏
ジュヌヴィエーヴ・リンデン	リーゼ・スティーヴンス	翠準子
テッド・ヘインズ Sr.	ジーン・ロックハート	塩見竜介 勝沼紀義
ティモシー・オダウド神父	フランク・マクヒュー	島宇志夫 藤田周
キャロル・ジェームズ	ジーン・ヘザー	増山江威子 溝田久美子
テッド・ヘインズ Jr.	ジェームズ・ブラウン	中田浩二
ベルクナンプ氏	ポーター・ホール	
トマス・ボザンニ	フォーチュニオ・ボナノヴァ	加茂嘉久

アカデミー賞 作品賞 受賞

監督賞 レオ・マッケリー

主演男優賞 ビング・クロスビー

助演男優賞 バリー・フィッツジェラルド[1] 受賞

脚色賞 フランク・バトラー

フランク・キャヴェット

原案賞 レオ・マッケリー